神戸の老舗ロースター
炭火焙煎の萩原珈琲が発行する機関紙

Vol.8

萩原珈琲ってこんな会社
萩原珈琲ジャーナル

１２７番地の取り組み

え？市役所ロビーがおもしろい？

子連れ、食育、親子で絵本、地産地消。神戸のどこで採れた野菜？週末も楽しい？もはや市役所？
神戸市役所ロビーの「新しい使い方」をスタンドカフェからご提案いたします。

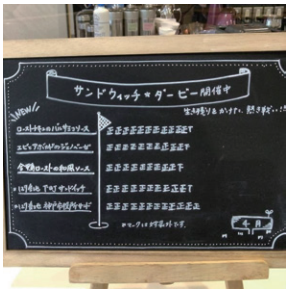
地産地消ができる市役所

地産地消にこだわった地元食材やフルーツを召し上がれ！とことん「地産地消」にこだわりました。桃・梨・柿・いちじく・いちご…季節ごとの地元産フルーツを使ったデザートや、すべての食材を地元にこだわるサンドイッチ。サンドイッチをぬり絵で楽しむぬり絵カフェも。食べた物がどこで作られたかが分かる食育サンド。

食品ロスが少ない市役所

サンドイッチダービー

神戸市食材をふんだんに使用したサンドイッチ達の生き残りをかけた戦い。毎月食べられた数をカウントし、サンドの消費を可視化。最下位のサンドイッチは、翌月新メニューに入れ替わる仕組み。



食品廃棄ゼロメーター

食品廃棄ゼロメータを設置。食品廃棄ゼロ日数を日めくり式で、店頭およびSNS で可視化。簡単・シンプルな取り組みで、気になる、数字を増やしたいという、食品廃棄削の動機にきっかけに。同時にＴＡＢＥＴＡ（食品ロス削減アプリ）に登録し、さらに食品の廃棄をゼロへの仕組みを進めています。

カフェから新しい市役所の使い方を提案

多世代が市役所に自然に滞留する、 集う市役所ロビー

お子さま連れの方に特典がある親子カフェ（単品ドリンク５０円引き）や、レジャーシート貸出のピクニックカフェ、ぬり絵カフェなど。絵本もあります。親子で絵本を読んだり、青空の下のびのびと過ごせるカフェ。小さな仕掛けを通じて違和感なく多世代が集います。週末も気軽に来られる市役所に。

環境に配慮した、 食の循環型経済を実現

色々な仕掛けに「ゲーム性」を取り入れ、気が付いたらお客様が仕組みに関わっている。参加している。結果、地産地消を促進、食品廃棄を削減し、環境に配慮した地域経済循環を目指します。

http://www.hagihara-coffee.com/

HAGIHARA COFFEE